

新居浜物流センターが 品質マネジメントシステム国際規格「ISO9001:2015」の認証を取得 ～GDP（医薬品の適正流通）ガイドラインに対応～

当社の卸物流拠点である新居浜物流センターが、スズケングループで医薬品物流を担う株式会社エス・ディ・ロジ（以下「エス・ディ・ロジ」）の品質マネジメントシステムに関する国際規格『ISO9001:2015』の認証取得（新たに13カ所の物流拠点で取得）の対象拠点となりましたので、お知らせいたします。

スズケングループは、メーカー物流と卸物流を一貫して担う「医療流通プラットフォーム」を基盤に、厳格な管理が求められる領域で培ったノウハウを卸物流へ展開し、物流品質の向上に取り組んでいます。あわせて、全国のメーカー物流・卸物流におけるGDP対応拠点の整備を進め、卸物流では各物流センターでの『ISO9001:2015』取得に加え、社内資格制度『GDPスペシャリスト』の活用など、人と仕組みの両面から品質管理体制を強化してきました。

2025年11月には、これらの取り組みが評価され、一般財団法人日本科学技術連盟主催の『2025年度 日本品質奨励賞』において、エス・ディ・ロジが『TQM実践賞』（※1）を受賞しています。

このたびスズケングループは、卸物流センター12拠点とメーカー物流センター1拠点の計13拠点で、新たに『ISO9001:2015』を取得しました。なお、エス・ディ・ロジが取得している『ISO9001:2015』は、GDPガイドラインの要求事項を取り入れたマネジメントシステムとなっています。

これにより、スズケングループでは、メーカー物流12拠点、卸物流15拠点、エス・ディ・ロジ本社組織1拠点の計28拠点の物流センターおよび関連部署が『ISO9001:2015』を取得したことになります。

さらに、スズケングループでは現在、物流担当者など173名が外部資格『品質マネジメント監査員』を保有しています。今後は、その中から選抜した、ISO9001およびGDPガイドラインに準拠した管理監督が可能な品質スペシャリストを主要な物流拠点に配置し、全国一律の品質管理体制を一層強化していきます。

これらの取り組みにより、国際基準であるPIC/S GDP（※2）に準拠した高度な品質管理体制を、概ねグループ全体で構築できたものと捉えています。今後もGDPガイドラインに対応し、品質管理のさらなる強化を通じて、医薬品流通における社会的使命を果たしてまいります。

※1 TQM実践賞：2024年度に従来の『品質革新賞』を見直して新設された賞で、TQM活動の要素を活用した成果が現れ始めている取り組みを評価・奨励し、さらなる成長を促すことを目的としています。

※2 PIC/S（医薬品査察協定および医薬品査察協同スキーム）：各国政府や査察機関の間のGMPとGDPにおける二つの協力機関の統合呼称。

(参考) エス・ディ・ロジが取得している「ISO9001:2015」

登録種別	品質マネジメントシステム
適用規格	JIS Q 9001:2025
登録組織	<p>■ メーカー物流（10拠点） エス・ディ・ロジ メーカー物流部、神戸物流センター、古河物流センター、尼崎物流センター、杉戸物流センター、西日本物流センター、東日本物流センター、六甲物流センター、筑波物流センター、札幌物流センター</p> <p>■ 卸物流（15拠点） エス・ディ・ロジ ロジスティクス推進部、札幌物流センター、宮城物流センター、大阪事業所、首都圏物流センター、名南物流センター、阪神物流センター、千葉物流センター、神奈川物流センター、掛川商品センター、江南物流センター、SILC（翔薬）、岡山物流センター（サンキ）、新居浜物流センター（アステイズ）、スズケン沖縄薬品本社</p> <p>■ 本社組織（1拠点） エス・ディ・ロジ 信頼性保証室</p>
登録範囲	<ul style="list-style-type: none">医薬品、医療機器、医薬部外品、化粧品および治験の対象とされる薬物・機械器具等の物流サービス（保管、荷揃え、梱包、輸配送、返品処理、廃棄）の設計・開発および提供医薬関連品および治験の対象とされる薬物・機械器具等の物流加工サービス（セット作業、シール貼り等）の設計・開発および提供
承認機関	一般財団法人 日本科学技術連盟 ISO 審査登録センター

上記以外にも、スズケングループで医薬品専門の輸配送を担う中央運輸の岩槻営業所および本社の2拠点においても『ISO9001:2015』を取得しております。

以上